

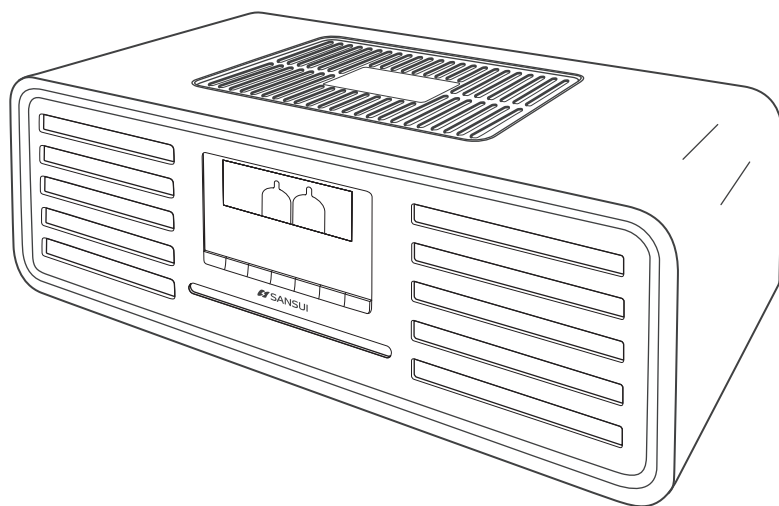
Bluetooth[®]機能搭載CDステレオシステム SMS-850BT

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。



も く じ

安全上のご注意	P.2
ご使用になる前に	P.4
各部の名称とはたらき	P.6
使用前の準備	P.8
正しい使いかた	P.11
通常の操作	P.11
CDを聴く	P.13
USBメモリーのMP3 / WMAを聴く	P.18
Bluetooth [®] 機器を聴く	P.19
FMラジオを聴く	P.21
外部入力を聴く	P.24
ヘッドホンを使う	P.25
便利な使いかた	P.26
時計機能を使う	P.26
お手入れのしかた	P.28
修理・サービスを依頼する前に	P.29
主な仕様	P.31
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙





安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグ (ACアダプター) をコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	本機に対してスプレー式のエアダスターを使用しない。 本機の内部にガスがたまった場合、引火して爆発する原因になります。	 指示	取りはずした電池の扱いに注意する。 幼児の手の届かないところに保管してください。電池を口に入れたり、ショートさせたりすると事故の原因になります。		
	日本国内以外で使用しない。 本機は日本国内専用です。		温度の高いところ、水蒸気が多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。 火災・感電・故障の原因になります。		放熱を妨げない場所に設置する。 他の機器や壁などから十分な間隔をとって設置してください。内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。		
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。	使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。			
	電源コードやACアダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 使用禁止	 プラグを抜く	 プラグを抜く	お手入れのときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。		
	ACアダプターを、乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。					異常時(こげ臭い、発煙など)はACアダプターを抜き、使用を中止する。 火災・感電の原因になります。 ACアダプターをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。	
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	 指示	 分解禁止	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤカスタマーセンター(裏表紙参照)にご相談ください。		
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。					 ぬれ手禁止	ぬれた手で、ACアダプターを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	強い衝撃を与えたり、本体を落下させたりしない。 衝撃を与えたときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因になります。					 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本機の上に水の入った容器や植木鉢などを置かないでください。 ショート・感電の原因になります。
	雷が鳴り始めたら、ACアダプターに触れない。 感電の危険があります。						

⚠ 注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ ●ほこりの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	上にものをのせたりしない。 内部に入ったとき、感電や火災・故障の原因になります。	 指示	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	熱のこもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。		直空管に触らない。 動作中は真空管および真空管カパーが高温になり、やけどの危険があります。		音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。
	不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。 転倒したり落下して、けが・故障の原因になることがあります。		通風孔をふさがない。 通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因になることがあります。		接続に注意する。 本機の入力端子へ接続した機器の過大信号によっては、本機を傷めたりすることがあります。正しい接続をしてください。
	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。	電池の極性に注意する。 電池をセットするとき、電池の+(プラス)と-(マイナス)に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	持ち運びするときは、ロッドアンテナをたたむ。 けがや故障の原因となります。		
	指定以外の電池を使用しない。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。	ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプター本体を持って抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。	本機を設置するときは、壁から20cm以上の間隔をあける。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上の間隔をあける。 内部に熱がこもり、火災の原因になります。		
電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。				

ご使用になる前に

使用環境について

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、内部に水滴がついたりする結露現象が起こります。

この状態でご使用になると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、電源を入れて、1時間程度放置してください。

内部の熱で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

USBメモリー CD MP3 WMAについて

- USBメモリー**
- ・ファイルシステムFAT32
 - ・USB2.0対応
 - ・～32GBまで対応
- 本機は、USBマストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。
- ※本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。
- ・USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
 - ・本機では、USBメモリー内のファイルを削除したり、移動することはできません。
 - ・本機はUSBメモリーに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。
 - ・DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。
 - ・USBメモリーの状態によっては正常に動作しないことがあります。

- CD**
- ・レッドブック：Audio CDフォーマット
 - ・ISO9660 準拠
 - ・CD-R/CD-RWに対応
- 本機は、CD-ROM、CD-RまたはCD-RWに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。パソコンなどを使ってMP3/WMAのディスクを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。
- ・「CDについて」(→5ページ)もお読みください。
 - ・マルチセッションには対応していません。最初のセッションのみ再生します。

- MP3**
- ・正式名称をMPEG-1 Audio Layer-3という音声圧縮の規格。
 - ・MP3データの認識はファイル拡張子「.mp3」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」を付けていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。

- WMA**
- ・正式名称をWindows Media Audioという音声圧縮の規格。
 - ・WMAデータの認識はファイル拡張子「.wma」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.wma」を付けてください。拡張子「.wma」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.wma」を付けていてもWMAデータ形式でないファイルは再生できません。

- MP3/WMA 共通事項**
- ・ビットレート 96～320 kbps (推奨)
 - ・サンプリング周波数 32kHz / 44.1kHz / 48kHz
 - ・999以上のファイルまたは99以上のフォルダーが記録されたディスクまたはUSBメモリーは、正常に再生できないことがあります。
 - ・本機は、ビットレート32kbps～320kbpsのMP3/WMAを再生できます。
 - ・可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
 - ・MP3/WMAデータの状態によっては、本機では再生できなかったり、特殊再生が正しく動作しなかったり、音が途切れることがあります。

- MP3/WMA ファイルの再生順番について**
- ・複数のフォルダーにMP3/WMAファイルを書き込むと、フォルダーごとにフォルダー番号を付けます。フォルダー番号の若い順に再生します。
 - ・書き込まれるフォルダーとファイルの順番情報は、書き込みソフトによって異なることがあります。予想した再生順番と異なる順でファイルが再生されることがあります。

Bluetooth について

Bluetooth(ブルートゥース)

本機はBluetoothの無線技術・ワイヤレスシステムを搭載しています。対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止してください。

通信について

- ・Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用すると、音が途切れたりすることがあります。
- ・本機などのBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、Wifiの使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。
- ・本機はすべてのBluetooth機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

安全にご使用いただくために

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・病院など医療機関、電車・航空機
- ・自動ドアや火災報知機の周辺
- ・心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

Bluetooth機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「㊟技適マーク」が本機の裏面に表示されています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

Bluetooth機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

BluetoothおよびBluetoothロゴは米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。そのほか商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

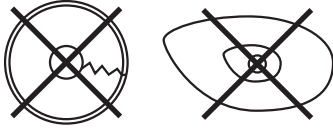
Bluetooth部 仕様	
適合規格	Bluetooth Ver.2.1+EDR
通信出力	Class2
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402 ~ 2.480GHz)
変調方式	G FSK.
プロファイル	A2DP AVRCP
対応コーデック	SBC
通信距離*	(見通し) 約 10 m *
同時接続台数	1 台
記憶可能ペアリング台数	1 台

* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。

CD について

ディスク使用上の注意



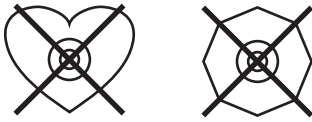
ひびやそりのあるディスクは絶対に使わない。
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。



ディスクに左記のマークが入ったものをご使用ください。

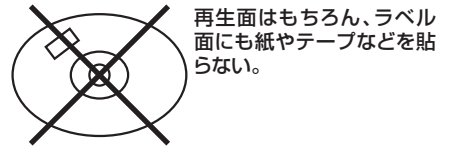
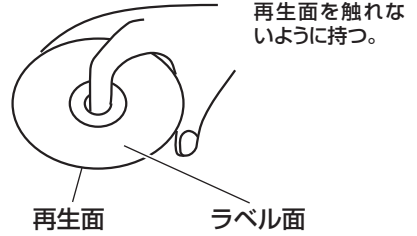
コピーコントロールCD(CCCD)やDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正しく再生できないことがあります。

本機は8cmシングルCDには対応していません
誤って使用した場合は故障の原因になります。
8cmCDを聴くときは必ず市販のCDシングルアダプターを使用してください。また、CDシングルアダプターは長時間使用しないでください。



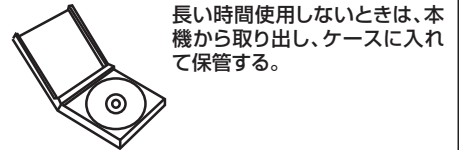
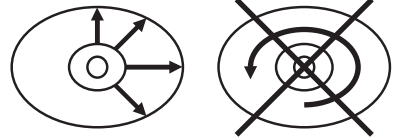
ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しない。
機器の故障の原因となります。

ディスク取り扱い上の注意



再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らない。

ディスクに指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで、放射状に軽く拭き取る。



長い時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管する。

※クラス1レーザ製品です。

ボタン電池について

- ボタン電池を扱うときには
- 指定以外のボタン電池は使用しない。
 - 極性表示を間違えないで挿入する。
 - 水や火の中に入れたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
 - 液漏れがおきたら使用しない。
- ボタン電池はもちろん、本体も液が付いた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにしてください。万が一、液が体が付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。
- 長時間使用しないときは、ボタン電池をはずしておく。
 - 使用後は、必ず各自自治体の指示に従って処分する。

真空管について

- 本機は真空管を使用しているため、電源投入後すぐに使用開始できません。真空管を使用しているため、使いかたによっては(長時間使用継続や大音量使用など)真空管を傷めてしまい、機器としての寿命を縮めることになります。
- 煩雑な電源の入切、ACアダプターの抜き差しをしない。
- 改造などで真空管を交換しないでください。改造をすると、保証サービスを受けられないだけでなく、とても危険であるため、絶対しないでください。

NFC (近距離無線通信技術) について

- NFC接続を利用すればかざすだけでワンタッチで接続
- 本機のNFC送受信部は本体上面にあります。本機の場合はBluetoothのペアリングと認証をNFCで行ない、簡単にBluetooth通信を開始させることに使います。

FM補完放送について

- FM補完放送(ワイドFM)
- AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76.1~89.9MHz、新たに設定された90.0~94.9MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。本機はFM補完放送に対応しています。
 - ※FM補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

免責事項について

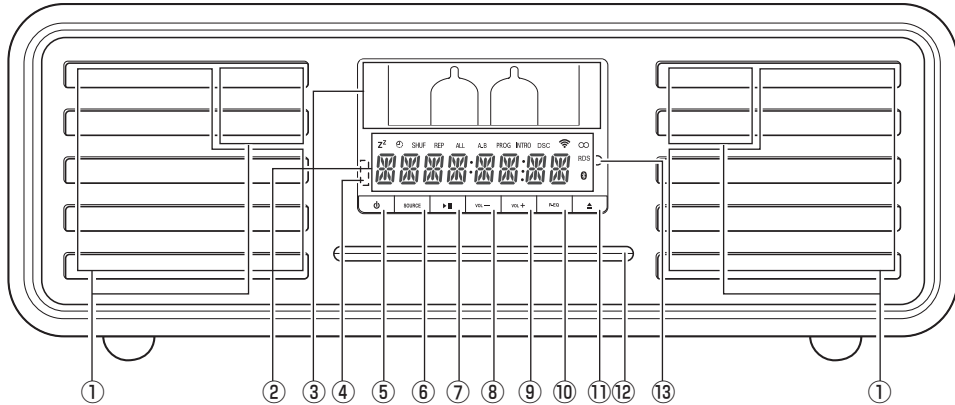
お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるディスク等への記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部の名称とはたらき

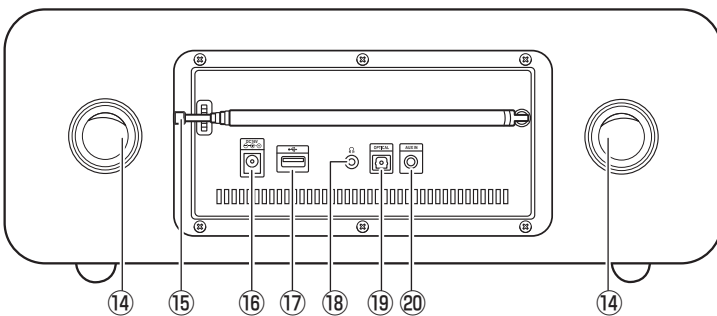
本体

正面

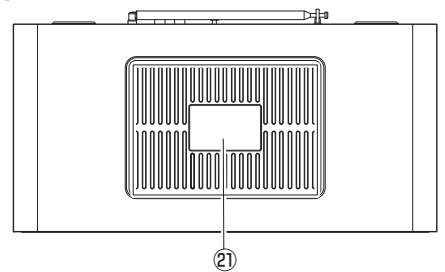


名称	機能
正面	
① スピーカー	音を再生します (⊕)ウーファー:低音再生用 (⊖)ツイーター:高音再生用
② ディ스플레이部	入力モード、再生時間など各種情報が表示されます
③ 真空管	通電時、光を放ちます
④ リモコン受光部	リモコン送信部からの信号を受信します
⑤ 電源ボタン	電源を入/スタンバイします
⑥ 入力切替ボタン(SOURCE)	入力モードを切り替えます
⑦ 再生/一時停止ボタン[▶]	再生・一時停止を行ないます
⑧ 音量-ボタン (VOL-)	音量を小さくします
⑨ 音量+ボタン (VOL+)	音量を大きくします
⑩ P-EQボタン	音質を変更します
⑪ CD取り出しボタン (▲)	CDを取り出します
⑫ CDスロット	CDを入れます
⑬ 電源ランプ	エコパワー・スタンバイ状態のときに赤く点灯します

裏面



(本体上面)

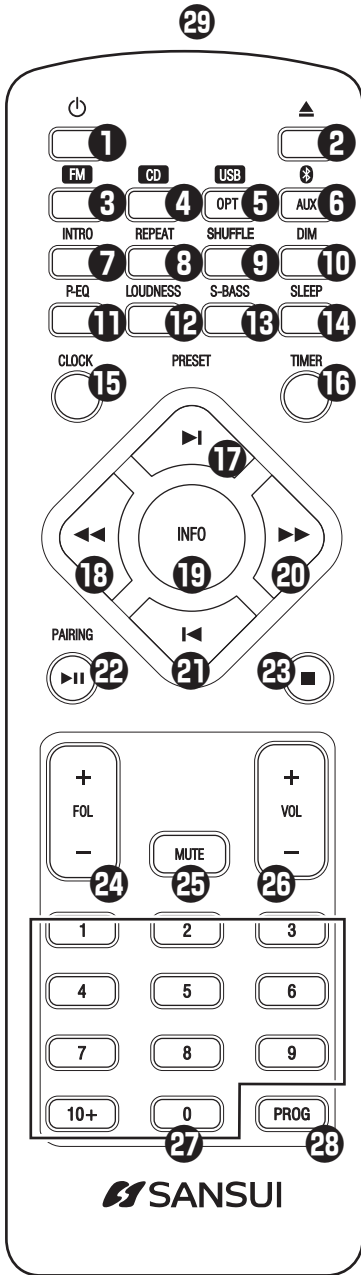


裏面	
⑭ バスレフポート	低音を再生します
⑮ FMロッドアンテナ	FMラジオ受信の時に使用します
⑯ 電源端子 (DC 16V)	ACアダプターのDCプラグを接続します
⑰ USB端子 (●)	USBメモリーを接続してUSBメモリーのデータを聴くことができます
⑱ ヘッドホン端子 (🎧)	ヘッドホン接続して音楽を聴くことができます
⑳ OPTICAL端子	光デジタル入力端子。テレビやゲーム機などのデジタル音声信号を入力します
㉑ AUX外部入力端子	外部機器を接続します

本体上面

㉒ NFC送受信部	NFC対応機器をここに近づけます
-----------	------------------

リモコン



No アイコン 名称/機能

- | | | |
|----|--|---|
| 6 | | BT/AUXボタン
BTモード/AUXを切り替えます |
| 7 | | INTROボタン
イントロ再生をします |
| 8 | | リピートボタン
リピート再生モードを切り替えます |
| 9 | | SHUFFLEボタン
シャッフル再生をします |
| 10 | | DIMボタン
ディスプレイの明るさを変更します |
| 11 | | P-EQボタン
音質を変更します POP → ROCK → CLASSIC → JAZZ → FLAT → POP |
| 12 | | LOUDNESSボタン
小音量時に押しと高音と低音が増幅されます |
| 13 | | S-BASSボタン
低音が強調されます |
| 14 | | スリープボタン
設定した時間後に電源が切れます
120 / 90 / 75 / 60 / 45 / 30 / 15 / 00 (OFF) (分) |
| 15 | | CLOCKボタン
現在時刻を表示します 現在時刻の設定に使用します |
| 16 | | タイマーボタン
オンタイマーの設定に使用します |
| 17 | | スキップ+/-ボタン
1曲先に進めます / 1曲前に戻ります
数値の増減にも使用します |
| 21 | | 早戻し/早送りボタン
曲を早戻しします / 曲を早送りします
ラジオの選局にも使用します |
| 18 | | 早戻し/早送りボタン
曲を早戻しします / 曲を早送りします
ラジオの選局にも使用します |
| 20 | | 早戻し/早送りボタン
曲を早戻しします / 曲を早送りします
ラジオの選局にも使用します |
| 19 | | INFOボタン
表示を切り替えます MP3/WMAではアルバム名などを表示します |
| 22 | | 再生/一時停止ボタン
再生または一時停止します BTモードでは長押しでペアリング解除します |
| 23 | | 停止ボタン
再生中の曲などを停止します |
| 24 | | FOLボタン
MP3/WMA再生するときのフォルダー変更に使用します |
| 25 | | 消音ボタン
音量を一時的に0(無音状態)にします |
| 26 | | 音量ボタン
音量を設定します |
| 27 | | 数字ボタン
曲番号を入力します |
| 28 | | プログラムボタン
CD/USBでプログラム再生、FMモードで放送局のプリセットに使用します |
| 29 | | 送信部
信号を送信します |

No アイコン 名称/機能

リモコン

- | | | |
|---|--|--|
| 1 | | 電源ボタン
電源を入/切(スタンバイ)します |
| 2 | | CD取り出しボタン
CDを取り出します |
| 3 | | FMボタン
FMモードにします(FMを受信します) |
| 4 | | CDボタン
CDモードにします(CDを再生します) |
| 5 | | USB/OPTボタン
USBモード/OPTICALを切り替えます |

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1 個	AC アダプター.....	1 個
リモコン.....	1 個	取扱説明書（保証書含む）.....	1 冊
ボタン形リチウム電池（CR2025）動作確認用 （出荷時、リモコンに装着済）.....	1 個		

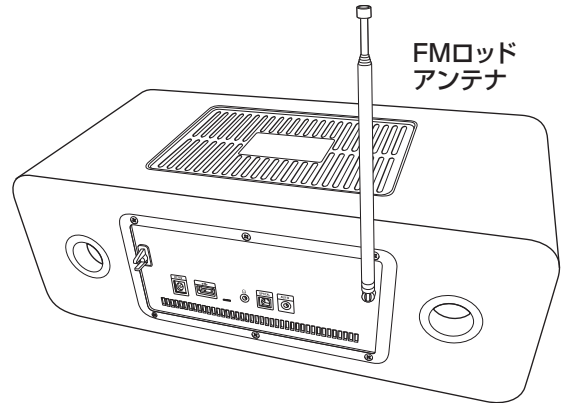
FM ロッドアンテナの使いかた

1. 引き延ばして使用する

長さや方向を変えて受信状態が一番良い位置を探します。

詳細は「FM ラジオを聴く」（➡ 21 ページ）

本体裏面



注意

FM ロッドアンテナは、移動する時には必ず縮める。
伸ばしたまま移動等をするとう破損の原因になります。

外部入力機器の接続

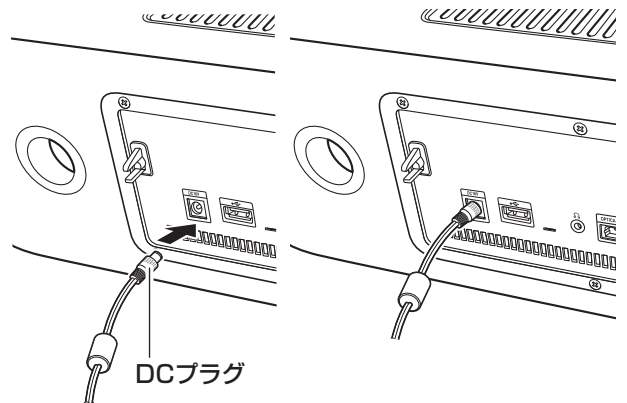
本機にはアナログ入力（AUX）とデジタル入力（OPTICAL）の2つの外部入力があります。

詳細は「外部入力を聴く」（➡ 24 ページ）

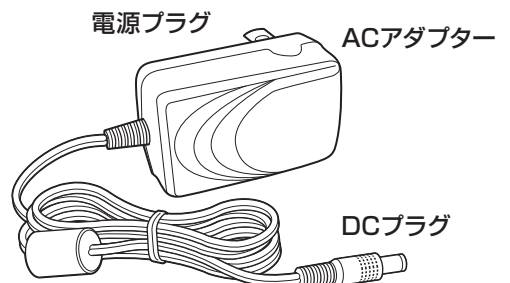
ACアダプターの取り付け

1. 本体裏面の電源端子に付属のACアダプターのDCプラグを取り付けてACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

通電すると、本体のディスプレイ部に「---:---」が点滅表示されます。



ACアダプター



フェライトコア

電源コード



注意

- 長時間使用しないときは電源プラグ（ACアダプター）をコンセントから抜く。火災、事故などの原因になります。
- めれた手で電源プラグ（ACアダプター）を扱わない。感電、火災、故障の原因になります。
- 電源プラグ（ACアダプター）をコンセントから抜くと、時計表示がリセットされます。
- 必ず DC プラグを接続した後に AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込んでください。逆の手順にした場合、電源端子でスパークが発生することがあります。

リモコンの準備

リモコンには電池が装着済ですので、絶縁フィルムを引き出してご利用ください。

※ 付属の電池は動作確認用です。新品の電池と比べて短期間で寿命になります。

リモコンの電池交換のしかた

ボタンを押しても動作しなかったり、動作が不安定なときには、新しい電池 (CR2025) を用意して、以下の方法で電池を交換してください。

1. 電池ケースのねじをお手持ちのドライバーで取りはずし、電池ケースを引き出す

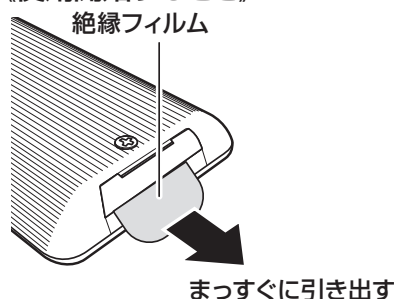
※ ねじを取りはずすドライバーは、適切なサイズのドライバーをご使用ください。

2. 古い電池を取り出し、電池の向き (⊕ ⊖) に注意して新しい電池を電池ケースに入れる

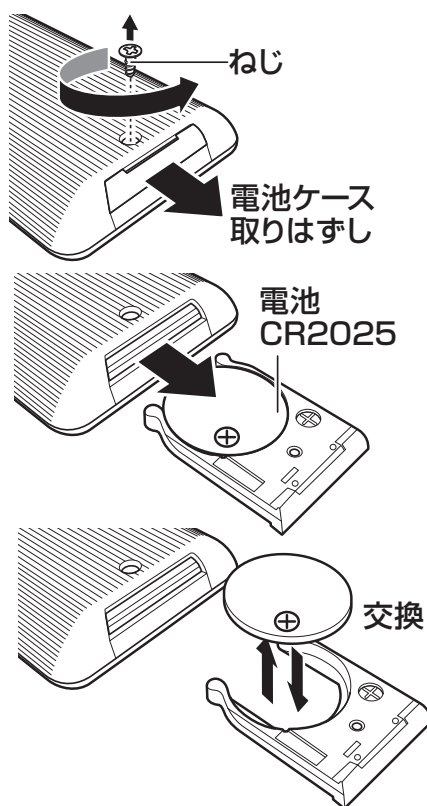
・電池の⊕側を上にして入れてください。

3. 電池ケースをリモコンに差し込み、電池ケースのねじを取り付ける

《使用開始するとき》



《電池を交換するとき・取り出すとき》



⚠ 注意

- ・長時間使わないときは、電池を取りはずす。
- ・電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕ ⊖ を正しく入れる。
- ・電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- ・万一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。
- ・電池を子供が飲み込んだりしないように必ず電池ケースにねじを取り付ける。

リモコン使用可能範囲

- ・本体正面から直線で約 5 m
- ・本体正面から上下左右に約 30 度

※ 次のようなとき、正しくリモコンが動作しないことがあります。

- ・リモコンと本機の間には障害物があるとき
- ・直射日光や蛍光灯の強い光が受光部に当たっているとき
- ・赤外線を出す機器の近くで使用したとき

使用前の準備（つづき）

現在時刻を設定する

電源プラグをコンセントに接続すると、ディスプレイ部には「--:--」が点滅表示されます。リモコンを使用して、時計を合わせてください。





1. スタンバイ状態でリモコンの CLOCK ボタンを長押しする


ディスプレイ部に「CLK SET」と表示され、「24-H」が点滅して表示されます。

2. リモコンの スキップ+ / スキップ- ボタンで12時間(AM/PM)表示または24時間表示を選び、 CLOCK ボタンを押す

12 時間 (AM/PM) 表示 「12-H」
24 時間表示 「24-H」

3. リモコンの スキップ+ / スキップ- ボタンで時・分を設定して、 CLOCK ボタンを押す

- ・リモコンの  早戻し /  早送り ボタンでも数値の増減をすることができます。
- ・「時」を設定後、 CLOCK ボタンを押すと「分」を設定することができます。
- ・「分」を設定後、 CLOCK ボタンを押すことで時刻表示を開始します。

- ※ 設定をやめるときは  停止 ボタンを押します。
- ※ 10 秒以上無操作状態がつづくとき時刻の設定がキャンセルされます。

ふたつのスタンバイ状態

本機にはふたつのスタンバイ状態があります。

1. スタンバイ状態で本体またはリモコンの 電源 ボタンを長押しする

スタンバイ状態が切り替わります。

・ 通常のスタンバイ状態

終了時に「GOOD BYE」と表示されます。スタンバイ状態では常に時計を表示します。電源ランプは消灯しています。

・ エコパワー・スタンバイ状態

終了時に「ECO PWR」と表示されます。エコパワー・スタンバイ状態では電源ランプが赤く点灯し、時計は表示されません。

オートパワーオフ


本機は以下の状態で15分以上操作しないと自動的に電源をスタンバイ状態に切り替えます。

- ・オートパワーオフ機能はCDモード/USBモード/BTモード/AUXモード/OPTICALモードで再生を停止したとき、または一時停止しているとき、Bluetoothモードで未接続時に動作します。

※ FMモードについては対応していません。

※ AUX 外部入力端子や OPTICAL 端子に音量調節機能のある機器を接続する場合は、音量を半分以上に上げてください。小音量の場合、オートパワーオフが正しく動作しません。

時計を確認する

エコパワー・スタンバイ状態ではディスプレイ部には何も表示されていませんが、リモコンの  CLOCK ボタンを押すことで現在時刻を見ることができます。またエコパワー・スタンバイ状態が解除できます。

1. スタンバイ状態でリモコンの CLOCK ボタンを押す


ディスプレイ部に現在時刻が表示されます。

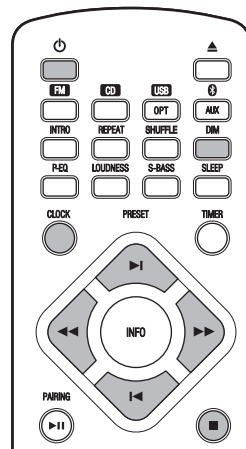
※ TIMER の設定が有効になっているかなど確認できます (➡ 26 ページ)。

ディスプレイ部の明るさを調節する

ディスプレイ表示を、お好みの明るさに変えることができます。

1. リモコンの DIM ボタンを押す

 DIM ボタンを押すたびにディスプレイ部の表示の明るさが変化します。3段階で明るさを調節できます。



正しい使いかた

通常の操作

1. 本体またはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れ、真空管の準備ができるまで約25秒待つ

電源が入ると、2本の真空管には赤い光がとまり、ディスプレイ部ではカウントダウンが9から始まります(「PREHEAT」)。カウントダウンが0になると、準備が完了し、まもなく操作ができるようになります。

2. 本体の音量ボタンかリモコンの音量ボタンを押して、音量を調節する

入力モードによって自動的に再生が開始されるため、音量を調節します。

- 音量が5以下で電源を入切すると、音量5に戻り、音量が12以上で電源を入切すると、音量12に戻ります。



電源投入直後、本機では既に音量が設定されているので、十分注意する。

3. 消音するときにはリモコンの消音ボタンを押す

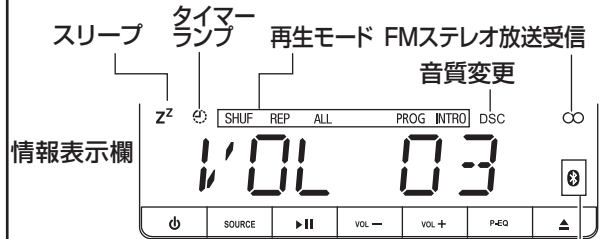
リモコンの消音ボタンを押すと音量0になります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 消音中はディスプレイ部に「MUTE」が点滅表示されます。
- 消音中に本体の音量ボタンか、リモコンの音量ボタンを押すと、消音は解除されます。

4. 本体の入力切替ボタンを押すかリモコンの各入力ボタンを押し、モードを切り替える

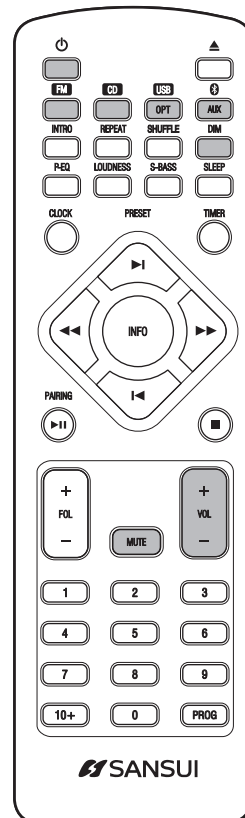
- 本体の入力切替ボタンを押すたびに、DISC → USB → BT → AUX → OPTICAL → TUNER → DISC... とモードが切り替わります。
- 接続している機器によって、モードの切り替えをするのに、(音を出すまでに)時間がかかることがあります(USBモードなど)。

ディスプレイ表示《例》



Bluetooth接続状態の表示

- ※同時にすべてが点灯するとは限りません。
- ※動作によっては表示されない機能もあります。



正しい使いかた（つづき）

通常の操作（つづき）

5. 音質を変えたいときは本体またはリモコンの **P-EQ** P-EQボタンを押す

好みの音質でお楽しみいただける、5パターンのイコライザー機能が内蔵されています。

・本体またはリモコンの **P-EQ** P-EQ ボタンを押すたびに、ポップス (POP) → ロック (ROCK) → クラシック (CLASSIC) → ジャズ (JAZZ) → フラット (FLAT) → ポップス (POP) と音質が切り替わります。フラット以外は「DSC」表示が点灯します。

6. 小さい音で聴くとき、高音・低音を増強した音にしたいときは、**LOUDNESS** LOUDNESSボタンを押す

小音量時は、高音・低音が貧弱な音になってしまいます。**LOUDNESS** LOUDNESS ボタンを押すと、高音・低音が増強されます。「DSC」表示が点灯します。

※イコライザー機能 (P-EQ) や S-BASS 機能と併用できません。

7. 低音を増強した音にしたいときは、**S-BASS** S-BASSボタンを押す

S-BASS S-BASS (スーパーバス) ボタンを押すと、低音が強調されます。「DSC」表示が点灯します。
※イコライザー機能 (P-EQ) や LOUDNESS 機能と併用できません。

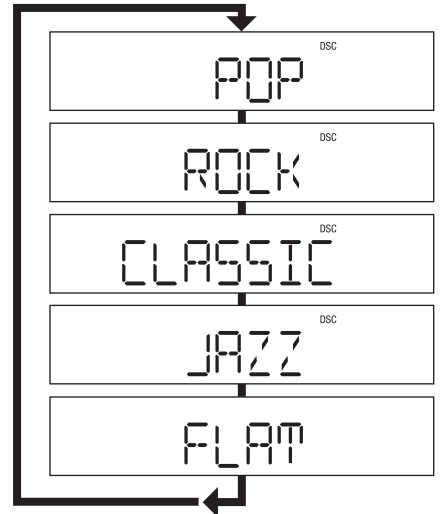
8. 聴き終わったら、本体の **VOL-** 音量-ボタンかリモコンの **VOL+** 音量+ボタンを押して、音量を最小にして、本体またはリモコンの **電源** ボタンを押してスタンバイ状態にする

・スタンバイ状態では Bluetooth の接続は切断されます。

9. 長期間使用しないときは電源プラグ (ACアダプター) をコンセントからはずす

電源プラグ (AC アダプター) をコンセントに接続したままにすると、実際使用しなくても、少なからず電力は消費されます。

・CD、USB メモリーなど装着したままにしないでください。



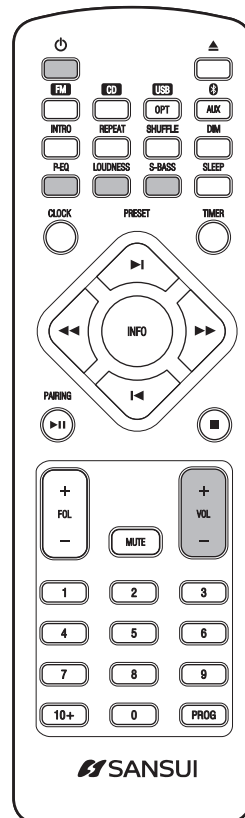
P-EQ

LOUDNESS

LOUD OFF ◀ ▶ LOUD ON ^{DSC}

S-BASS

BASS OFF ◀ ▶ BASS ON ^{DSC}



警告

使用後は必ず電源を切り、電源プラグ (ACアダプター) をコンセントから抜く。火災・故障の原因になります。



注意

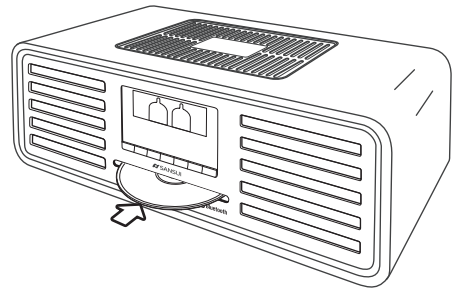
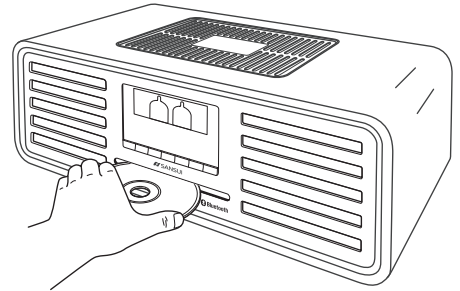
電源プラグ (ACアダプター) をコンセントから抜くと、現在時刻がリセットされるため、十分注意する。再度設定が必要になります。

CD を聴く

本機はCDモード、USBモードのときにCDの挿入、または取り出しができます。

CDを入れるとき、または取り出すときはCDモードまたはUSBモードに切り替えてから行なってください。

※ 電源を入れた直後やCDモードまたはUSBモードに切り替えた直後は、CDの挿入、または取り出しに時間がかかることがあります。



通常再生をする

1. 本体の **[SOURCE]** 入力切替ボタンを押す
かリモコンの **[CD]** CDボタンを押して、CDモードに切り替える

「DISC」表示が出ます。CDが挿入されていないと、「NO DISC」表示が出ます。

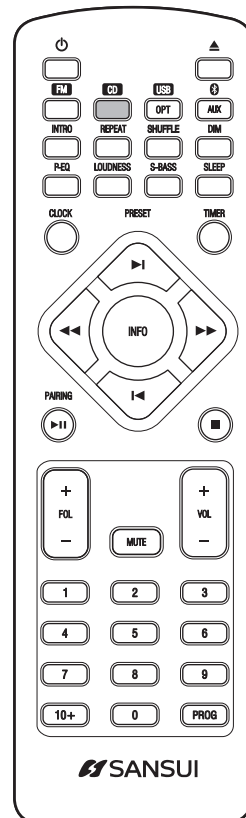
2. 本体のCDスロットにラベル面を表(上)にしてCDを入れる

- CDを半分以上入れると、自動的に吸い込まれていきます。「READING」表示が出て、CDの読み込みを始めます。
- ディスクが吸い込まれないときは無理に押し込まずディスクを抜いて、**[▲]** CD取り出しボタンを押したあと、入れ直してください。無理に押し込むと製品が破損する原因になります。
- 読み込みできないディスクと判断されると、「UNK DISC」と表示されます。

本機は8cmCD (CDシングル) をそのままでは入れることができません。使用するときには市販のCDシングルアダプターに取り付けてから使用してください。

※ CDシングルアダプターも使用するのは一時的としてください。長期常用して本機内部ではずれたりすると、事故の原因になります。

※ 「CDについて」 (⇒5ページ) もご覧ください。



- 音楽CD、MP3/WMA CD以外入れない。データCDやDVDなどを入れると、異音が発生することがあり、スピーカーや耳を痛め、故障の原因になります。
- 12cmCD以外入れないように注意する。指や異物などを入れると、けが・感電・故障の原因になります。

正しい使いかた (つづき)

CD を聴く (つづき)


3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

曲番号 1 から再生が開始されます。



- ディスプレイ部には曲番号と経過時間が表示されます。

※本機はレジューム機能を搭載しています。再生中に電源を切ったり、モードを切り替えたりしても再生を停止させた曲から再生されます(ただしCDによってはレジューム機能が働かないものもあります)。



■曲を進める スキップ+ボタン

- 再生中に  スキップ+ボタンを 1 回押すごとに次の曲に進みます。
- 最後の曲の次は、最初の曲に戻ります。



■曲を早送りする 早送りボタン

- 再生中に  早送りボタンを長押しすると聴いている曲が早送りされます。
-  早送りボタンを離すと普通の再生状態に戻ります。



■曲を戻す スキップ-ボタン

- 再生中に  スキップ-ボタンを 1 回押すと曲の最初に戻ります(再生開始直後は除く)。
-  スキップ-ボタンを 1 回押すごとに 1 曲戻ります。




■曲を早戻しする 早戻しボタン

- 再生中に  早戻しボタンを長押しすると聴いている曲が早戻しされます。
-  早戻しボタンを離すと普通の再生状態に戻ります。


■一時停止する 再生/一時停止ボタン

- 再生中に  再生/一時停止ボタンを押すと再生が一時停止します。
- もう一度  再生/一時停止ボタンを押すと再生が再開します。

■停止する 停止ボタン


- 再生中に  停止ボタンを押すと再生が停止します。 停止ボタンで再生を停止させたあと、次に  再生/一時停止ボタンを押すと最初の曲から再生が始まります。

■曲を直接選曲する 数字ボタン

-  数字ボタンを押すとその番号の曲(CDの「トラック」)が再生されます。
- 押した数字の曲が実際にはないときは入力することはできません。

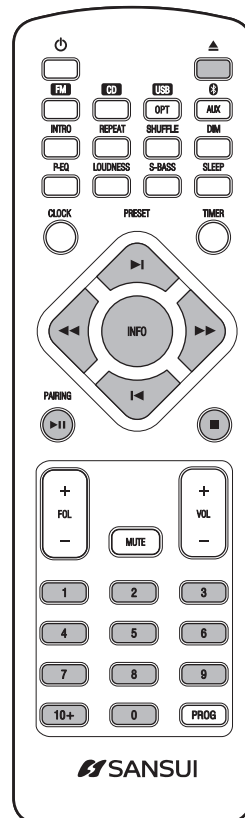
※「インデックス(トラックのハイフン以下)」を指定することはできません。

■表示を切り替える INFO ボタン

-  INFO ボタンを 1 回押すごとにディスプレイ部の時間表示が、現在再生されている曲の経過時間→曲の残り時間→CDの経過時間→CDの残り時間→曲の経過時間と切り替わります。

4. 聴き終わったら、本体またはリモコンの CD取り出しボタンを押してCDを取り出す

「OPEN」と表示されます。



特殊再生をする 1

■繰り返し再生 (リピート再生)

1. 再生中に、リモコンの **REPEAT** リピートボタンを押してリピート再生モードを選択する

ディスプレイ部に「REP」表示点滅 (1曲繰り返し)、
「REP」表示点灯 (フォルダー繰り返し)、
「REP ALL」表示点灯 (全曲繰り返し) と切り
替わり表示されます。

2. リピート再生をやめるには **REPEAT** リピートボタンを何度か押して「REP」表示を消灯させる

■シャッフル再生

「SHUF」表示点灯 (シャッフル再生入)、「SHUF」
表示消灯 (シャッフル再生切) と切り替わります。

- ・ MP3/WMA 再生時に使用すると、フォル
ダーに関係なくランダムに再生します。

1. 再生中に、リモコンの **SHUFFLE** SHUFFLE ボタンを押して「SHUF」表示を点灯させる
2. シャッフル再生をやめるには、**SHUFFLE** SHUFFLE ボタンを押して、「SHUF」表示を消灯させる

※ **STOP** 停止ボタンを押して再生を停止させても繰
り返し再生またはシャッフル再生を終了します。

■イントロ再生機能

本機では曲のはじめの部分 (約 10 秒) だけを、
再生させることができます。

1. 再生中に、リモコンの **INTRO** INTRO ボタンを押す

INTRO INTRO ボタンを押すと、ディスプレイ部
に「INTRO」表示が点灯し、イントロ再生が
始まります。

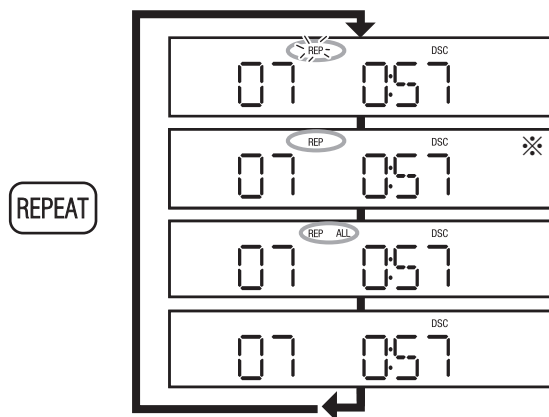
- ・ 最初の曲からイントロ再生が始まります。
- ・ MP3/WMA の CD のときは最初のフォル
ダー・最初の曲からイントロ再生が始まります。

2. イントロの続きを聴くときは、**▶||** 再生 / 一時停止ボタンを押すか、リ
モコンの **INTRO** INTRO ボタンを押す

ディスプレイ部の「INTRO」表示が消灯され、
イントロ再生が終了し、そのまま再生を続けます

- ・ イントロ再生中に **▶||** 再生 / 一時停止ボタン、
または **INTRO** INTRO ボタンが押されないと、
そのまま最後の曲のイントロまで再生して、
停止状態になります。

ディスプレイ表示《例》

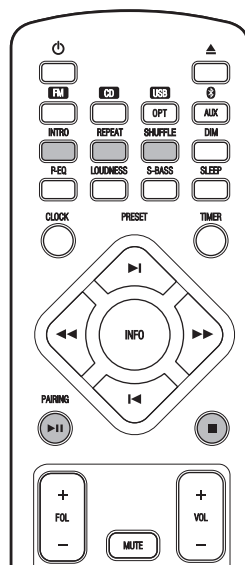


※ フォルダー繰り返しはMP3/WMAファイルが記
録されたCD、USBで表示されます。

SHUFFLE



INTRO



正しい使いかた (つづき)

CD を聴く (つづき)

特殊再生をする 2

PROGRAM(プログラム) 機能・曲の順番を決めて聴く

本機では、CD、CDまたはUSBに記録されたMP3/WMAファイルを、お好みの順番で再生させることができます。

※ プログラム：お好みの曲目・曲の順番

1. 本体の **SOURCE** 入力切替ボタンを押す
リモコンの **CD** CDボタンを押して、CDモードに切り替える

USBでもプログラム機能を使うことができます。
・CDとUSBの曲を混在させることはできません。

2. 自動で再生が開始されるため、**STOP** 停止ボタンで再生を停止させ、**PROG** プログラムボタンを押す

「PROG」、**001 P-01** が点灯します。

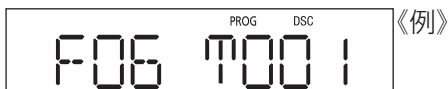


・再生中に **PROG** プログラムボタンを押すと、「STOP FIR」と表示されます。

3. **SKIP+/-** スキップ+/-ボタンまたは **1~0,10+** 数字ボタンで再生する曲を選ぶ

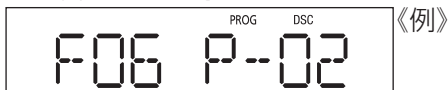


4. MP3/WMAファイルのときは **FOL+** FOLボタンでフォルダーを選択して **SKIP+/-** スキップ+/-ボタンまたは **1~0,10+** 数字ボタンで再生する曲を選ぶ



F:フォルダー、T:曲(タイトル)

5. **PROG** プログラムボタンを押す
1曲目として登録されます。



6. 順に選曲して **PROG** プログラムボタンを押すことを繰り返す

PROG プログラムボタンを押すことで曲が登録されます。

- ・最大20曲まで登録することができます。20曲目を登録すると、「PRG FULL」表示が出て、そのままプログラム再生が始まります。
- ・途中の曲の変更などすることができません。

7. **PAUSE** 再生 / 一時停止ボタンを押して再生する

プログラム再生中は通常の曲のように早送り、早戻し、次の曲、前の曲、一時停止と自由に操作することができます。

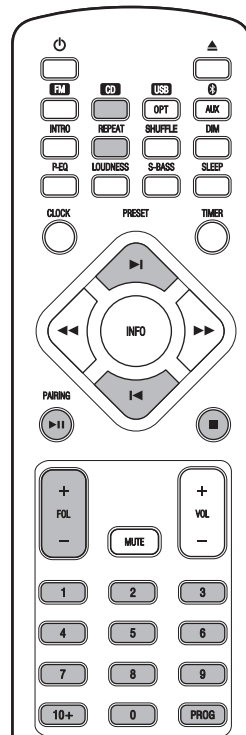
8. リモコンの **REPEAT** リピートボタンを押してプログラムの再生モードを選択する

REPEAT リピートボタンで作成したプログラムを繰り返し再生「REP ALL」、もしくは1曲のみ繰り返し再生「REP (点滅)」させることができます。

プログラムの消去

停止中に再度 **STOP** 停止ボタンを押すと、ディスプレイに「PRG CLR」と表示され、「PROG」が消灯し、プログラムが消去されます。

※ CD (USB) モードから他のモードへの切替、電源ボタンを押す、ディスクの取り出しなどの操作、USBメモリーの取りはずしをしてもプログラムは消去されます。



CDのMP3/WMAファイルを聴く

本機では、CDに記録されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

音楽CDの再生方法と同じ操作をします。

1. 音楽CDの再生と同様に本体の **SOURCE** 入力切替ボタンを押すかリモコンの **CD** ボタンを押して、CDモードに切り替え、CDを入れる
2. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

ディスプレイ部には曲番号と経過時間が表示され、曲が切り替わるときにこれから再生する曲のフォルダー番号と曲番号が表示されます。

07 0:57 《例》

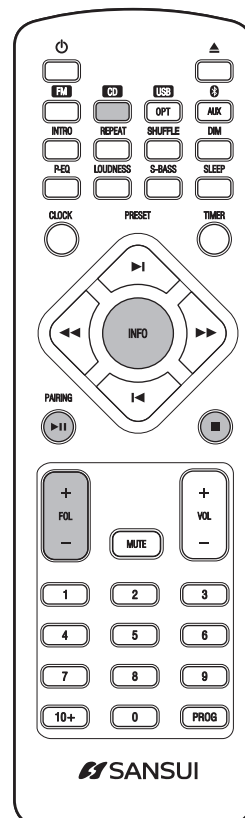
F 11 T008 《例》

- リモコンの **FOL** ボタンで曲の入っているフォルダーを選択することができます。
- **停止** ボタンで再生を停止させると、次に **再生／一時停止** ボタンを押したとき、最初の曲から再生が始まります。
- **INFO** ボタンを押すと、MP3/WMAにある曲の英数字情報（曲名・アルバム名・アーティスト名）のみを表示することができます（日本語などは表示されません）。

※「USBメモリー CD MP3 WMAについて」(➡4ページ)、「CDについて」(➡5ページ)もお読みください。



ファイルに適切な拡張子 (MP3は [.mp3]、WMAは [.wma]) を付ける。拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する恐れがあります。



正しい使いかた (つづき)

USB メモリーの MP3 / WMA を聴く

USB メモリーに記録されたMP3/WMA の音楽を聴く

本機では、USB メモリーに記録された MP3/WMA ファイルを再生することができます。音楽 CD の再生方法と同じ操作をします。

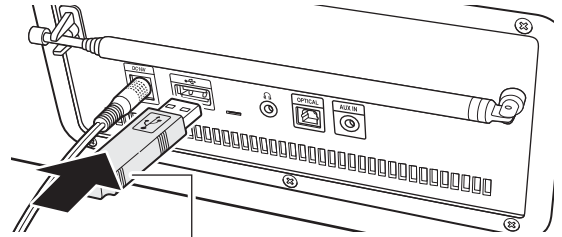
1. USB端子にUSBメモリーを接続する
2. 本体の **SOURCE** 入力切替ボタンを押す
かリモコンの **USB(OPT)** USBボタンを押して、USBモードに切り替える

リモコンの **USB(OPT)** USBボタンはOPTICAL入力ボタンと共用なので、**USB(OPT)** USBボタンを押すたびにUSBモード (「USB」) とOPTICAL入力 (「OPTICAL」) が切り替わります。

3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

リモコンの操作ボタンを使用して、CD 同様の操作をすることができます。

- リモコンの **FOL+** ボタンで曲の入っているフォルダーを選択することができます。
- **停止** ボタンで再生を停止させると、次に **再生/一時停止** ボタンを押したとき、最初の曲から再生が始まります。
- **INFO** ボタンを押すことで、MP3/WMA にある曲の英数字情報 (曲名・アルバム名・アーティスト名) のみを表示することができます (日本語などは表示されません)。

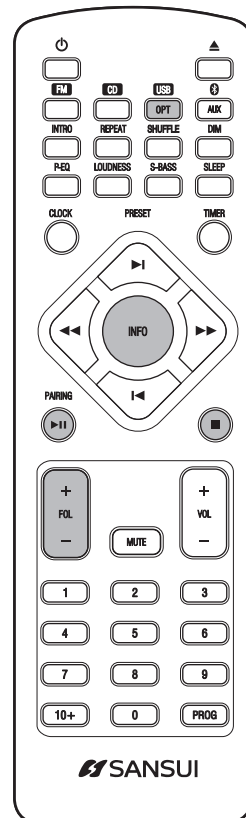


USBメモリー

USB

⚠ 注意

- ファイルに適切な拡張子 (MP3 は [.mp3]、WMA は [.wma]) を付ける。拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する恐れがあります。
- USBメモリーの抜き差しをするときには、(金属にさわるなどして) 体の静電気をなくしておく。
空気が乾燥して静電気が起こりやすい環境のとき、USBメモリーを扱うと、データを破壊してしまうことがあります。



Bluetooth® 機器を聴く

Bluetooth 機器の設定

- Bluetooth デバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
- ペアリングするときは、両方の機器を 1m 以内に置いてペアリング設定をしてください。
- 本機は一度に 1 台の Bluetooth 機器しか接続できません。

本機は以下の手順で Bluetooth 機器と接続（ペアリング接続）することができます。

Bluetooth機器との初めての接続

1. ペアリングしたいBluetooth機器の電源を入れる

Bluetooth 接続モードにしておきます。

2. 本体の **SOURCE** 入力切替ボタンを押すかリモコンの **AUX** BT ボタンを押して、BTモードに切り替える

ディスプレイ部には「BT」と表示され、右端の「BT」が点滅します（点滅は未接続を示しています）。



3. 接続するBluetooth対応機器のサーチ機能を利用して、本機の製品名「SMS-850BT」を検索する

検索が完了すると、接続する外部機器のディスプレイに「SMS-850BT」が表示されますので、それを選択し「ペアリング」を開始します。

※ ペアリング接続・設定方法は、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

※ ペアリングのときに PIN コードが要求された場合は、4桁の数字「0000」を入力します。

4. 接続が成功すると、ピピッと音がして「BT」の点滅が点灯に切り替わる

接続されると、短い音が流れます。



5. 接続がうまくいかないときは、本体またはリモコンの再生/一時停止ボタン（ペアリングボタン）を長押しする

「BT」が点滅します。もう一度最初から接続しなおしてください。



注意

本機はSCMS-Tに対応していません。接続するBluetooth対応機器がSCMS-T対応のときは、ご使用になれないことがあります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご確認ください。

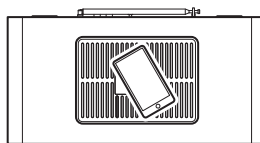
Bluetooth機器との2回目以降の接続

ペアリングをしたBluetooth対応機器は、自動的に接続されます。再接続されないときは、「Bluetooth機器との初めての接続」の手順に従って再度接続してください。

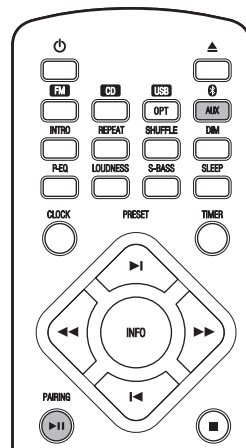
※ 接続する Bluetooth 機器によっては、自動的に接続されないことがあります。本機の故障ではありません。

NFC機能を使用しての接続

NFC機能に対応したBluetooth機器を本機にかざすだけで簡単にペアリングできます。



本機をBTモードにして、NFC対応Bluetooth機器はNFCモードを「入」にして本体上面にかざす（タッチ・ゆっくり動かすなど）と、ペアリングされます。



正しい使いかた（つづき）

Bluetooth® 機器を聴く（つづき）

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

1. 「Bluetooth機器との初めての接続」の設定・ペアリングを行なっておく
2. 本機とBluetooth機器が接続していることを確かめる
※ Bluetooth 機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。
3. 本機に接続したBluetooth機器で再生を始める
本機のリモコンで Bluetooth 機器のコントロールができます。

別の Bluetooth 機器との接続

別の Bluetooth 機器を本機に接続したいときは、現在接続されている機器の接続を切断してください。本機は他の Bluetooth 機器とは 1 度に 1 台の機器しか同時に接続できません。

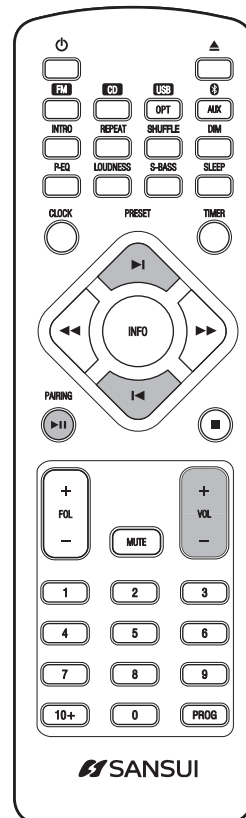
1. 接続していた外部機器の Bluetooth 機能をオフにする
・外部機器に表示されている、本機機種名「SMS-850BT」の接続を解除します。
2. 別の外部機器と「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう
3. 接続できないときは、リモコンの▶|| 再生／一時停止ボタン（ペアリングボタン）を長押しして、再度「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう
※ Bluetooth機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

本機のリモコンで操作できる Bluetooth 機器の機能

- ▶|| 再生／一時停止
 - ◀◀ スキップ-
 - ▶▶ スキップ+
 - ◀VOL+ 音量
- （接続される機器のプロファイルによります）

このコントロールする機能は、Bluetooth の AVRCP プロファイル対応機器との接続時のみ機能します。

※ また AVRCP プロファイル対応機器でもこのコントロールに対応しない機器や、対応するコントロールであっても、コマンドを送信する方法によって正常に機能しない機器があります。



FM ラジオを聴く

FM ラジオを聴く

本機はFMラジオ放送を聴くことができます。
76～108MHzの受信ができ、FM補完放送（ワイドFM）に対応しています。
受信状態が悪いときは、本体のFMロッドアンテナの向きなどを調整してください。

1. 本体の **SOURCE** 入力切替ボタンを押す
かリモコンの **FM** FMボタンを押して、FMモードに切り替える

ディスプレイ部に「TUNER」が表示されます。

2. 《自動プリセット》リモコンの **PROG** プログラムボタンを長押しする

ディスプレイ部に「AUTO」と表示され、自動プリセットが開始します。

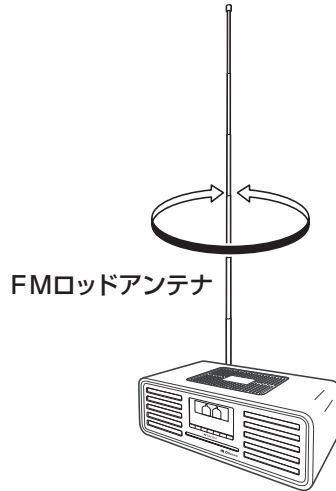


自動プリセットが終了すると、プリセット番号01の放送局が選局されます。

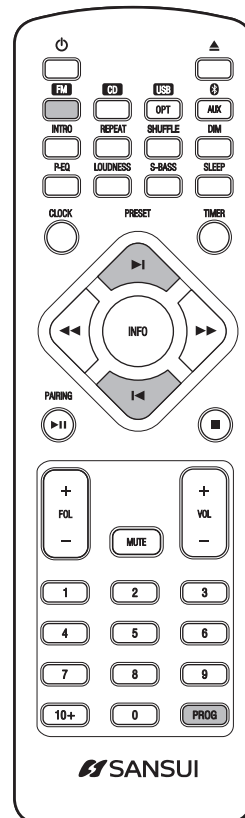


自動プリセットをするときの注意

- プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態でするようにしてください。
 - プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにします。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。
 - プリセット中は、他の操作はできません。プリセット終了まで操作するのはお待ちください。
3. プリセットされた局を聴くときは、リモコンの **SKIP+** / **SKIP-** ボタンでプリセット局を選局する



FMロッドアンテナ



正しい使いかた (つづき)

FM ラジオを聴く (つづき)

4. 《自動選局》 ◀ 早戻しボタンまたは ▶ 早送りボタンを長押しすると自動選局が始まり、放送が受信されると自動的に止まる

- 自動選局が始まったら指を離してください。放送局を受信すると自動的に止まります。
- 聴きたい放送局が見つかるまで繰り返してください。

5. 《手動選局》 ◀ 早戻しボタンまたは ▶ 早送りボタンを短く押すと一定のステップで選局ができる

押すたびに 0.1 MHz 毎に増減して手動選局ができます。聴きたい局が見つかるまで繰り返してください。

6. 《手動プリセット》プリセットしたい放送局を選局したあと、リモコンの **PROG** プログラムボタンを押す

ディスプレイ部でプリセット番号が点滅します。

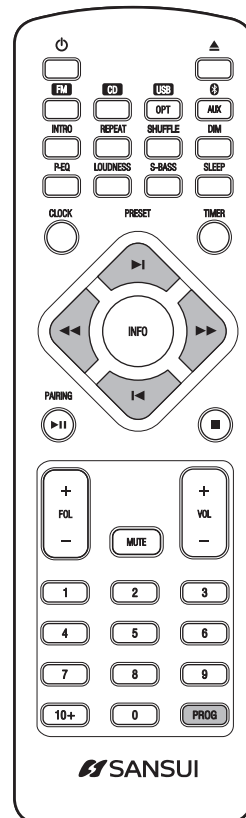


7. プリセット番号点滅中にリモコンの ◀ ▶ スキップ+ / - ボタンを使ってプリセット番号を指定し、**PROG** プログラムボタンを押す

指定したプリセット番号に放送局が登録されます。



プリセットは最大 20 局まで可能です。



ステレオ・モノラル受信切り替え

F Mラジオ放送のステレオ放送が聴き取りにくいとき、モノラルにすると聴き取りやすくなる場合があります。

1. リモコンの リピートボタンを押してステレオからモノラルに切り替える

「MONO」と表示したあと、通常が表示に戻ります。



2. リモコンの リピートボタンを押してモノラルからステレオに切り替える

「STEREO」と表示したあと、通常が表示に戻ります。

ステレオ放送を受信中はディスプレイの右上に「∞」が表示されます。



正しい使いかた (つづき)

外部入力を聴く

デジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器を外部入力端子に接続し、本機のスピーカーから音声を出力することができます。

本機には AUX(アナログ入力)と OPTICAL(光デジタル入力)の2系統の入力端子があります。

1. 本体の **SOURCE** 入力切替ボタンを押す
かリモコンの **AUX** BT/AUXボタン、
USB/OPT USB/OPTボタンを押して、使
いたい外部入力に切り替え、音量の
設定を最小にする

- 外部機器の接続・取りはずしのときは、必ず
本体の **VOL** 音量-ボタンかリモコンの **-VOL** 音
量ボタンを押して、音量を最小にします。

- ※ リモコンの **MUTE** 消音ボタンは使用しないでく
ださい。

2. 本体裏面の外部入力端子に、外部機
器を接続する

- 接続コードは接続する外部機器に合った市販
品をご購入ください。
- AUX (アナログ入力)、OPTICAL(光デジタ
ル入力)それぞれ接続しておき、聴きたい入
力を切り替えることができます。

AUX (アナログ入力)

本機の AUX 入力端子はステレオミニプラグ端子です。

- ※ レコードプレーヤーはフォノイコライザー
搭載の機器以外接続することができません。

OPTICAL (光デジタル入力)

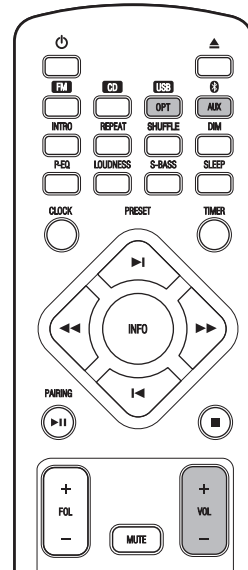
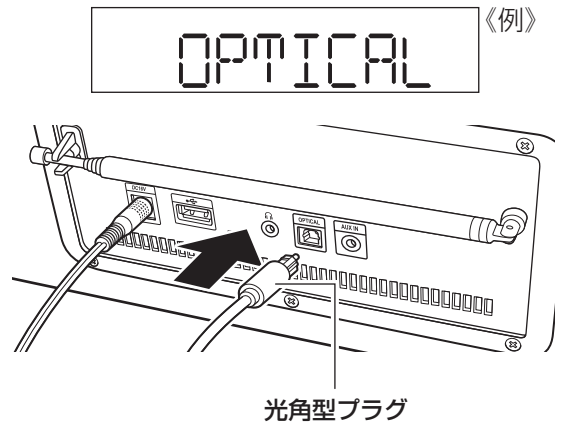
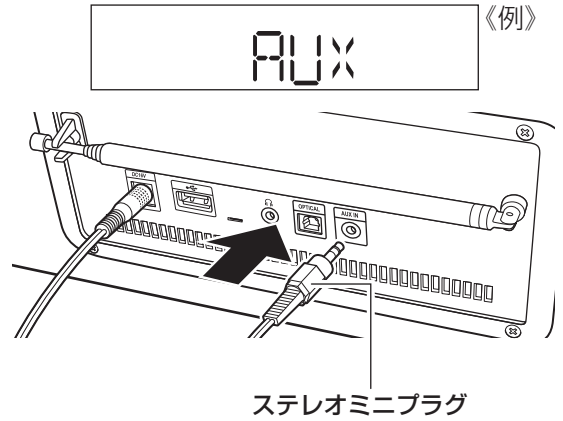
本機のデジタル入力は光デジタル (OPTICAL) 入力端子です。

- 本機に入力できるのは 32kHz、44.1kHz、
48kHz のリニア PCM 信号です。



光デジタル(OPTICAL)入力端子にリニアPCM信号以外は入力しない。
リニアPCM信号以外のドルビーデジタル、DTS、AACなどを入力すると雑音が発生し、スピーカーの破損などの原因になります。

3. 外部機器を再生状態にする



4. 本体の **VOL -** **VOL +** 音量ボタンかリモコンの **-VOL+** 音量ボタンを押して、適切な音量に調節する

※ 外部入力の使用時に外部機器の音量が小さい場合、無信号と判断し 15 分でオートパワーオフが働くことがあります。外部機器の音量を上げて、本体側で音量を調節してください。



注意 外部機器の音量調節は慎重に行なう。小さすぎると適正な音量が出力されません。また大きすぎると過大入力信号となり本機が壊れることがありますので、ご注意ください。

5. 外部機器を取りはずすときは、必ず音量を最小にする

ヘッドホンを使う

1. 本体の **VOL -** 音量-ボタン、またはリモコンの **-VOL+** 音量ボタンで音量を最小にする

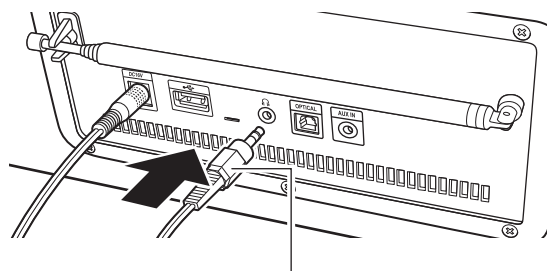
2. 本体裏面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続する

• ヘッドホン端子に接続するとスピーカーから音が出なくなります。
接続したヘッドホンを取りはずすと音が出るようになります。

3. 本体の **VOL -** **VOL +** 音量ボタン、またはリモコンの **-VOL+** 音量ボタンで適切な音量に調節する



注意 • ヘッドホンを使って大音量で長時間聴くことはしない。
聴力に悪影響をおよぼすことがあります。
• ヘッドホンのステレオミニプラグ(φ3.5)は必ず3極プラグを使用する。
4極プラグを使用すると、正しく動作しないことがあります。



ステレオミニプラグ(φ3.5・3極)

便利な使いかた

時計機能を使う

本機は、内蔵時計を利用して便利に使うことができます。

スリープタイマーを使う

スリープタイマーで設定した時間後に電源を切る(スタンバイ状態) ことができます。

1. リモコンの **SLEEP** スリープボタンを押してスリープタイマーを設定する

ディスプレイ部に「SLEEP 00」が表示され、**SLEEP** スリープボタンを押すたびに 00(OFF) → 120 → 90 → 75 → 60 → 45 → 30 → 15 → 00 と切り替わります(単位は分)。

- ・設定した時間後に電源が切れます。
- ・設定すると左上に「Z²」表示が点灯します。
- ・スリープタイマーを設定したあと、**SLEEP** スリープボタンを押すと、残り時間が表示されます。

2. 再度設定するとき、キャンセルするとき、リモコンの **SLEEP** スリープボタンを押して数値を変更する

SLEEP スリープボタンを押して、数値を設定しなおします。

- ・スリープタイマーをキャンセルするとき、00 に設定します。

オンタイマーを使う

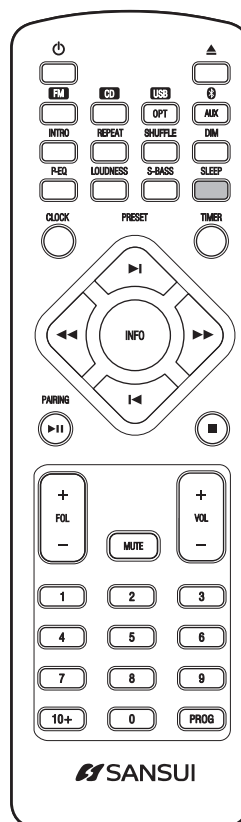
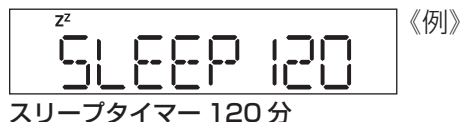
設定した時間に自動で電源を入れて、設定したモード(FM/CD/USB)の音を設定した音量で再生させることができます。

1. オンタイマーを使う前に、現在時刻の設定と再生する音源の準備をしておく

現在時刻が設定されていないと、オンタイマーは使用することができません。

「現在時刻を設定する」(➡ 10 ページ)

再生する音源(FM ラジオ、CD、USB メモリー)を準備してください。



2. 通常のスタンバイ状態で、リモコンの[TIMER]タイマーボタンを長押ししてオンタイマー設定を表示させる

ディスプレイ部に「ALM SET」と表示されます。

※ 現在時刻が設定されていない状態で[TIMER]タイマーボタンを長押しすると「SET CLOCK FIRST」と表示されます。

※ 画面がまったく表示されていない「ECO PWR」(エコパワー・スタンバイ)状態ではタイマー設定することはできません。[CLOCK]CLOCK ボタンを押して時刻表示されている通常のスタンバイ状態で設定をしてください。



3. リモコンの<<>>早戻し/早送りボタンを押して、再生するモードを選択し、リモコンの[TIMER]タイマーボタンで決定する

TUNER・DISC・USB を設定します (BT、AUX、OPTICAL は設定できません)。



■ TUNER に設定したとき

• 最後に選局した FM 局の音声が流れます。

■ DISC に設定したとき

• CDの曲がレジューム再生されます。MP3/WMAが記録されたCDでも同様です。

• CDが再生できないときはFMの音声が流れます。

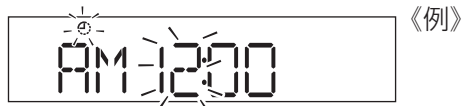
■ USB に設定したとき

• CD同様、USBメモリーの曲がレジューム再生されます。

• USBが再生できないときはFMの音声が流れます。

※ 設定をやめるときは[STOP]停止ボタンを押す、または30秒以上そのままにしておきます。

4. リモコンの<<>>早戻し/早送りボタンを押して、再生を開始する時間(時・分)を設定する



• 「時」を設定後、[TIMER]タイマーボタンを押すと「分」を設定することができます。

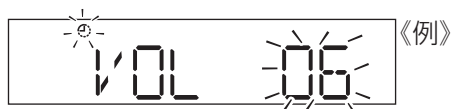
• 「分」を設定後、[TIMER]タイマーボタンを押すと「音量」を設定することができます。

※ 設定をやめるときは[STOP]停止ボタンを押す、または30秒以上そのままにしておきます。

5. リモコンの<<>>早戻し/早送りボタンを押して、再生する音量を設定する

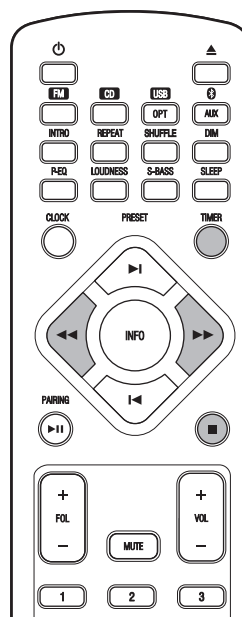
• オンタイマーが実行されたときの音量を設定します。

• オンタイマーが実行されたとき音量は設定した音量まで徐々に上がります。



注意

- オンタイマーの音量調節は慎重に行なう。
- 設定する再生するモードに気をつける。



便利な使いかた（つづき）

6. リモコンの **TIMER** タイマーボタンを押して、タイマー設定をする

タイマーランプが点滅から点灯に切り替わります。



タイマーランプ

オンタイマーを「入・切」する

設定したオンタイマーを使用するとき、しないときに合わせて設定することができます。

1. オンタイマーを入にするには、通常のスタンバイ状態または電源が入った状態で、リモコンの **TIMER** タイマーボタンを押して、画面左上のタイマーランプを点灯させる

TIMER タイマーボタンを押すことで、タイマーの入・切をすることができます。



タイマーランプ点灯

※画面がまったく表示されていない「ECO PWR」（エコパワー・スタンバイ）状態ではタイマー入・切を設定することができません。**CLOCK** ボタンを押して時刻表示されている通常のスタンバイ状態で設定をしてください。

※タイマーランプの点灯消灯で、オンタイマーの入・切を確認することができます。

2. オンタイマーを切にするには、通常のスタンバイ状態または電源が入った状態で、リモコンの **TIMER** タイマーボタンを押して、画面左上のタイマーランプを消灯させる



タイマーランプ消灯

お手入れのしかた



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグ（AC アダプター）をコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

本体のお手入れ

本体の汚れは、柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取ったあとは乾拭きしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）



注意

- ベンジン・シンナーでは拭かない。
変色や変形の原因になります。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従って使用する。
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない。
感電・故障の原因になります。

CDのお手入れ

CDにホコリや指紋、皮脂汚れなどがあると正しく再生されません。

柔らかい布での乾拭きや市販のCDクリーナーなどでクリーニングしてから再生するようにしてください。

※放射状に拭くようにしてください。

※市販のCDクリーナーの取扱説明書を必ずご確認ください。

※CDについて詳しくは「CDについて」（➡5ページ）もお読みください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解や修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通部		
電源が入らない	• ACアダプターがはずれている	ACアダプターの電源コードを本体の電源端子に、電源プラグ (ACアダプター) をコンセントにきちんと接続する
音が出ない	• 入力切替が目的のモードに設定されていない	入力切替ボタンを押すかリモコンボタンを押して、目的のモードに切り替える
	• 消音状態になっている	リモコンの(MUTE)消音ボタンで消音を解除する
	• ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されている	ヘッドホンを取りはずす
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続しても正しく聴こえない	• ヘッドホンのミニプラグが奥まで差し込まれていない • 4極以上のミニプラグのヘッドホンを使用している (4極以上のミニプラグは正しく使用できないことがあります)	ミニプラグを奥まできちんと差し込む 3極のステレオミニプラグヘッドホンを使用してみる、または変換プラグなど使用してみる
雑音が入る	• 近くで電波など発する機器 (携帯電話など) を使用している	電波など発する機器から離す、もしくは電波など発する機器を離す
電源が自動でオフになる	• オートパワーオフ機能	本機では再生が停止または一時停止された状態で15分以上操作しないと電源が自動でオフになります (→10 ページ)
正常な動作をしない		一度電源プラグを抜いて接続しなおす

CD部		
CDが入らない	• すでに他のCDが入っている	CD取り出しボタンでCDを取り出す
	• CDモード、USBモード以外のモードになっている	CDモード、またはUSBモードに切り替える (本機はCDモード、USBモードのときにCDの挿入、取り出しができます)
CDが取り出せない	• CDモード、USBモード以外のモードになっている	CDモード、またはUSBモードに切り替える (本機はCDモード、USBモードのときにCDの挿入、取り出しができます)
再生が始まらない	• CDを裏返しに入れている	ラベル面を上にしてCDを入れなおす
	• CDの汚れがひどい	クリーニングをする
	• CD-R/RWがファイナライズされていない	ファイナライズされたCDを使用する*
	• CDが著作権保護技術でエンコードされている	ディスクによっては再生できない
	• 結露状態になっている	露のつかない場所に移動し、結露を乾燥させる
	• 再生できないディスクを入れている	「UNK DISC」と表示されるディスクは再生できません
音がとぶ	• 振動がある	振動のない場所に置く
	• CDに大きなキズがある	CDを修復する

* ファイナライズの方法については、ご使用の録音機器の取扱説明書をご覧ください (本機ではファイナライズできません)。

修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
MP3/WMAを読み取らない	• フォーマットが違う	ISO9660でフォーマットして書き込む
	• 書き込んだセッションが違う	MP3/WMAのCDは1度にすべてを書き込む(マルチセッションに対応しません)
	• 拡張子「.mp3」、「.wma」が付いていない	拡張子「.mp3」、「.wma」を付ける ※音楽ファイルを認識しなかったときは、「NO SONG」と表示されます。
USB 部		
MP3/WMAを読み取らない	• フォーマットが違う(NTFS・HFSなど)	FAT32でフォーマットして書き込む
	• 拡張子「.mp3」、「.wma」が付いていない	拡張子「.mp3」、「.wma」を付ける ※音楽ファイルを認識しなかったときは「NO SONG」と表示されます
USBメモリーを認識しない	• USBハブなどを介して接続している	本体に直接接続する
	• HDDを接続している	USBメモリーを使用してください
	• フォーマットが違う(NTFS・HFSなど)	「NO SUPPT」と表示されるUSBメモリーはFAT32でフォーマットし直して書き込む
FM ラジオ部		
雑音が入る	• テレビなどが近くにある	テレビなどから離す
	• 電波状態が悪い	窓際などで試してみる
		ロッドアンテナの長さや方向を変更してみる
外部入力部		
音が小さい	• フォノイコライザーが付いていないレコードプレーヤーをつなげている	フォノアンプを介して接続する
	• 接続している機器の音量が小さい	接続している機器の音量をあげる
光デジタル入力で雑音が聴こえる	• リニアPCM信号以外のドルビーデジタル、DTS、AACなどを入力している	入力するのはリニアPCM信号にする
光デジタル入力で音がしない、または大音量ノイズがする	• 本機で対応していないサンプリング周波数の信号を入力している	対応している周波数の信号を入力する (➡24ページ)
Bluetooth 部		
音が出ない	• Bluetooth 機器との距離が長い	近くで使用する
	• 無線 LAN や電子レンジ、無線機器などの影響を受けている	影響しそうな機器の使用をやめてみる
	• 正しくペアリングされていない	もう一度ペアリングしてみる
	• SCMS-T の送信	本機は SCMS-T に対応していません
映像機器とつなぐと、映像より音が遅れる	• Bluetooth の通信遅延	状態によって Bluetooth では若干遅れることがあり、映像と音声を一致させるには外部入力端子に音声を接続する
ペアリングできない	• Bluetooth 機器との距離が長い	より近づけてペアリングしてみる
	• Bluetooth 機器側の問題	電源など十分に確保してから試してみる 外部機器の取扱説明書をご確認ください
	• 先に別のBluetooth機器が接続されている	別のBluetooth機器が接続されていないか確認する

症状	主な原因	処置
NFC 接続できない	・ Bluetooth 機器の NFC 機能が無効になっている	Bluetooth機器のNFC機能を有効にする
リモコン部		
リモコンで操作できない	・ 電池が消耗している	新しい電池に交換する
	・ 操作する距離が長い	近いところで操作する

主な仕様

仕 様

電 源	ACアダプター AC100V 50/60Hz 出力 DC16V 1.8A
消費電力	26W (動作時) エコパワー・スタンバイ時 0.7 W
実効出力(RMS・THD10%)	15W + 15W 総合 30W
対応 CD	CD/CD-R/CD-RW ISO9660 準拠フォーマット
USB 規格	Ver.2.0 最大 32GB FAT32 最大ファイル数 999 最大フォルダー数 99
Bluetooth	Ver.2.1+EDR Class2 プロファイル A2DP AVRCP コーデック SBC (SCMS-T 非対応)
チューナー	FM: 76-108MHz ステレオ対応
スピーカー	2WAY バスレフ方式 7cm フルレンジ (W-RPM 和紙二重抄紙スピーカー) +3 cm ツイーター× 2
再生音源	CD 部 (CD-DA、MP3、WMA) USB メモリー部 (MP3、WMA)
外部入力端子	ステレオミニプラグ (AUX) 1 系統 OPTICAL 光デジタル入力 1 系統、 USB 端子
出力端子	3.5mm 3 極ステレオヘッドホン端子
外形寸法	本体：(約) 幅 392 × 高さ 148 × 奥行 204 mm
質 量	約 4.0kg

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

長年ご使用のCDステレオシステムはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・ 電源コードや AC アダプターが異常に熱い。
- ・ コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・ こげ臭い匂いがする。
- ・ その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから AC アダプターを抜いて、必ず販売店またはドゥシヤカカスタマーセンターに点検をご相談ください。

株式会社ドウシシャ

〈東京本社〉〒108-8573 東京都港区高輪2-21-46

〈大阪本社〉〒542-8525 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…

⇒**ドウシシャ福井家電 カスタマーセンター** 【受付時間】9: 00～ 17: 00(土日祝以外の月～金曜日)

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

TEL 0778 (24) 2779 FAX 0778 (24) 2799

※ 製品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。

※ FAXもしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。